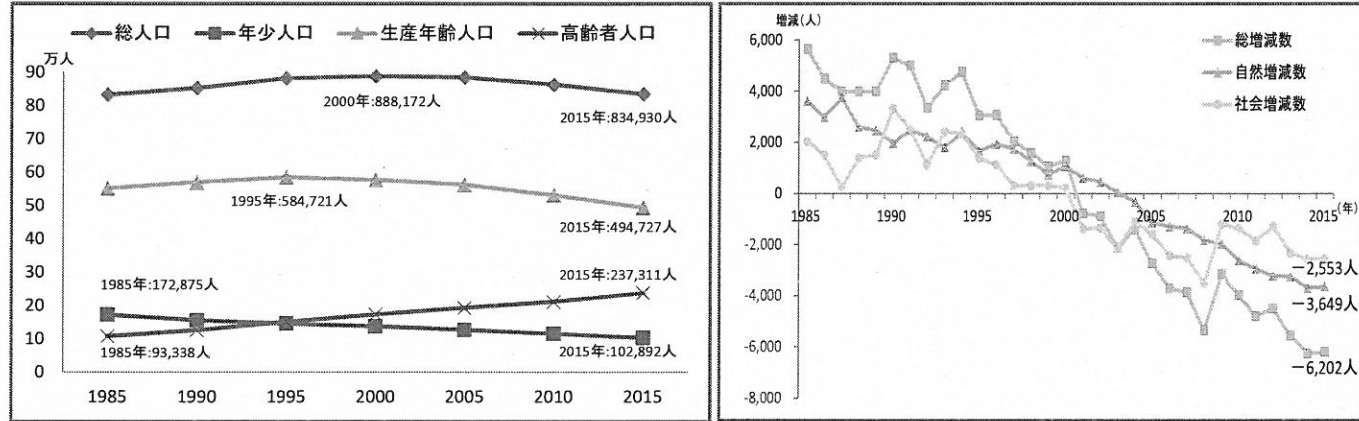


# 山梨県の人口・就労等の状況

## 1 人口状況

○ 人口構成と推移 (総務省「国勢調査」「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省「人口動態統計」)

- ・人口減少に伴い、生産年齢人口も減少(1995年:約58万人(約66%)→2015年:約49万人(約59%))
- ・2003(H15)以降、社会減に転じた。特に20歳代で大きく転出超過



## 3 女性

○ 女性の働きやすい環境の充実

- ・延長保育・病児保育等のきめ細かな保育の推進
- ・待機児童ゼロ

○ 女性の有業率 (H24 就業構造基本調査)

- ・本県の有業率(50.4%)は、全国平均(48.2%)に比べて高い
- ・年齢階級別有業率では、25~29歳以降はどの年齢階級でも全国平均を上回っている

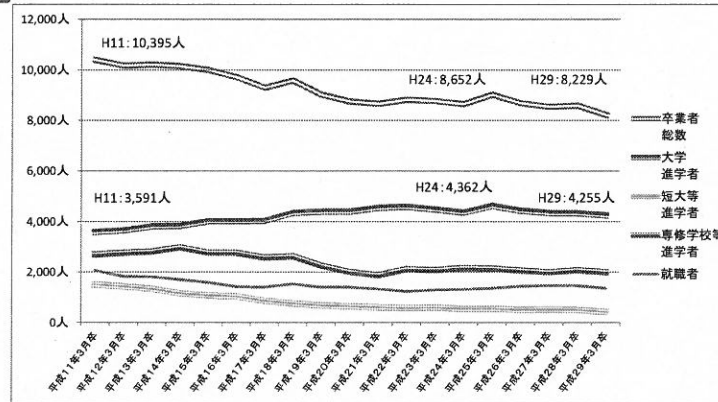
○ 地域における女性の活躍に関する意識調査 (H27 内閣府男女共同参画局)

- ・「子どもができてからもずっと職業を持ちたい」と思う女性の割合: 7位(33.2%)
- ・「子どもを保育園や学童保育、親族などに預けやすい」と思う女性の割合: 6位(61.3%)
- ・「女性の活躍が進めば、地域の経済社会が今より活性化する」と思う女性の割合: 2位(31.6%)

## 2 高校生の状況

○ 卒業者数と進学者数 (学校基本調査)

- ・卒業者は減少傾向 (H24:8,652人→H29:8,229人)
- ・大学進学者はほぼ横ばい (H24:4,362人→H29:4,255人)
- ・大学進学率全国11位 (H29:51.7%)



○ 大学進学率・県外進学率 (H29 県立高等学校進路状況調査)

- ・公立高校からの大学進学者のうち68.5%(2,058人)が県外へ進学
- ・公立高校からの県外大学進学者(2,058人)の4分の1以上は理工系

	卒業者	大学進学者	うち県内		うち県外	
			うち理工系	うち理工系	うち理工系	うち理工系
公立	6,006人	3,005人	947人(31.5%)	89人(9.4%)	2,058人(68.5%)	544人(26.4%)

○ 進学ニーズ (H29 県高校2年生進路希望等に関する調査)

- ・第1希望の進路として選択した人数と割合

	農業関係	機械関係	電気関係	電子関係	自動車整備関係	情報(ソフト)	情報(ハード)	宿泊・飲食	観光・旅行	宝飾・貴金属
大学へ進学	66.5%	52.9%	32.1%	59.5%	22.5%	62.2%	57.4%	23.0%	65.1%	26.9%
短大へ進学	2.2%	0.9%	1.2%	1.7%	2.7%	1.4%	3.9%	2.5%	5.0%	7.7%
専修・専門学校へ進学	14.6%	3.2%	3.6%	7.8%	31.5%	22.1%	17.4%	21.3%	15.7%	30.8%
産短大へ進学	1.1%	1.5%	3.0%	2.6%	0.9%	1.0%	3.2%	1.6%	3.2%	0.0%
峡南技専へ進学	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	11.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
就職	10.8%	38.9%	58.9%	25.9%	25.2%	9.5%	14.8%	45.1%	5.7%	23.1%
その他の回答	4.3%	1.9%	1.2%	2.6%	5.4%	3.4%	3.2%	6.6%	5.0%	11.5%
総計(人数)	185	465	168	116	111	294	155	122	281	26

## 4 高齢者

○ 年齢構成 (H27 国勢調査)

- ・全国に比べて65歳以上の比率が高くなっている

	15歳未満	15-64歳	65歳以上
山梨	12.4%	59.2%	28.4%
全国	12.6%	60.7%	26.6%

○ 高齢者の有業率 (H24 就業構造基本調査)

- ・60歳以上の有業率(全国平均:30.9%)を都道府県別にみると、長野県(36.3%)に次いで2位(36.0%)

## 5 障害者

○ 雇用障害者数、実雇用率 (H29.12.12 山梨労働局発表)

- ・雇用障害者数(H24:1,258人→H29:1,709人)、実雇用率(H24:1.69%→H29:1.95%)ともに右肩上がり
- ・従業員100人未満の企業では、実雇用率が低め(1.71%)となっている

## 6 外国人

○ 外国人労働者数 (H30.1.26 山梨労働局発表)

- ・本県の外国人労働者は増加傾向にある(H25:4,345人→H29:5,823人)
- ・国籍別ではブラジル(1,293人)、中国(1,126人)、フィリピン(1,102人)の順に多い

○ 外国人留学生の状況 (H29 県調査、日本学生支援機構「外国人留学生在籍調査」)

- ・H29.4時点で県内の大学等に在籍する留学生は961人(全国202,577人)
- ・H28年度卒業・修了者(314人)のうち国内での就職者49人(うち県内11人)

# 環境の変化と検討の視点

## 1 環境の変化

### (1) 第4次産業革命の進展

- AI (人工知能)、IoT、ビッグデータ等の情報通信技術の進歩
  - ・スマート工場、スマート農業、自動運転 など
- 国が「新産業構造ビジョン」等で描く姿=Society 5.0
  - ・核となる技術は「AI」と「IoT」
  - ・IT利活用による新領域進出やITを媒介とした異分野の産業等の融合
- 多くの職業・仕事がAI等に代替されるとの予測

### (2) グローバル化の進展

- 海外進出している日系企業数
  - ・日本全体では過去最高 (H28: 71,820 拠点) (H29. 5. 31 外務省)
  - ・県内企業は 22 か国に 151 事業所等を設置 (H26 ジェトロ山梨貿易情報センター調査)
- 本県の外国人労働者数 (5,823 人)、外国人労働者を雇用する事業所数 (1,058 所) とともに、2008 年以降で過去最高 (H30. 1. 26 山梨労働局)
- TPP (環太平洋パートナーシップ) や EPA (経済連携協定) による海外取引の自由化
- 2020 年の東京オリンピック等に向け海外からの観光客、外国人宿泊者が増加

### (3) 人口減少・少子高齢化の進行

- 日本の人口減少数が過去最大、かつ、東京圏への一極集中
- 女性、高齢者、障害者、外国人など多様な人材への活躍の期待
- 熟練技能者の高齢化や後継者不足
- 少子化に伴い学生確保に苦しむ地方私立大学の公立化の動き

### (4) その他の状況

- インフラ環境の整備
  - ・ 2019 年度 … 中部横断自動車道 (山梨・静岡間) 開通予定
  - ・ 2027 年 … リニア中央新幹線開業予定
- 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関 (専門職大学) の制度化
  - ・ 専門技術等を有し、新たなサービス・プランの企画や開発を推進できる人材を育成
- 6次産業化の推進
  - ・ 国は 2020 年までに 6 次産業の市場規模を 10 兆円に拡大させる方針 (農林水産業・地域の活力創造プラン)

## 2 検討の視点 (案)

### 新たに強化すべき能力

- (1) 第4次産業革命に対応していく能力
- (2) 新領域進出や異分野連携・融合に対応していく能力
- (3) 企業の海外展開、外国人の受け入れに対応していく能力

### 県の人材育成機関に期待される役割

- (1) 県内産業界が求める即戦力となる人材の育成・供給
- (2) 学生が求める進学先であること
- (3) 多様な人材の就学を可能とする教育環境の提供
- (4) AI等に代えることのできない技能・技術の継承
- (5) 多様な目的・レベルに応じた教育の提供